

グリーントマト

発行責任者 中田慶子
〒850-8799長崎中央郵便局 私書箱第7号
FAX 095-832-8488 DV防止ながさき
HP : <http://www.no-dv-nagasaki.net/>
E-mail dv_greentomato@yahoo.co.jp
郵便振替口座 01730-6-103415

例年より早い梅雨入りで、雨の中に紫陽花が美しく咲いています。
このところ、女性や子どもが被害者となる事件、虐待事件が立て続けに起
こり悔しくてなりません。私たちが暮らす社会の根深いジェンダー意識、女性
や子どもを性の対象と見たり、子どもを大人の所有物として支配するという
意識が明らかになります。



財務省事務次官というたいへん力を持つ立場の人間が、その立場を利用して女性記者に性的
な嫌がらせをしたという事実は見過ごせない事件でした。長崎でもこれはあんまりではないかと
当会を含む15の女性団体が連名で4月25日に長崎財務事務所へ抗議と要請の文書を届けまし
た。

世界各地で性被害を告発する「#MeToo」「#WeToo」(「私も」「私たちも」の意)運動が広がっ
ています。「#MeToo」運動は、確かに一定の効果をあげていますが、では実際に誰かが「私
も」と声を上げた時に、ほんとうにその被害者を、誹謗中傷という二次被害から守ることができ
るのか？現実には未だに声をあげられない被害者のほうが圧倒的に多いのが現実です。被害者
の人権を守れるかどうか、社会の成熟度が問われています。

DV 被害者の多くもまた、声をあげることができません。自分や子どもを守るためには逆らわな
いこと、ことを荒立てないことが一番だと長い間思わされてきたからです。他県の裁判で、加害者
側が「冤罪」「虚偽DV」と主張して自治体を訴えたケースがあり、そのような報道自体が、怯えて
いる被害者をより委縮させることにもなり、憤りを覚えます。

被害者が自分や子どもを暴力から守るために、加害者から離れる選択をする気持ちになった
時、それをしっかり応援するしくみは、もっともっと充実されるべきです。新しい出発ができること、
安全に生きていく方法があること、それを知ることによって一歩踏み出すエネルギーがわいてきます。
「あきらめないで！ きっと大丈夫だから！」と、私たちは伝え続けますが、それを確かなものにし
ていくためには、まだまだ社会の理解と支援の仕組みが必要だと思えます。

理事長 中田慶子

昨年度まで取り組んできた「共感寄付」。おかげさまで4年間で、合計1,267,163円のご寄
附を、当会で、お母さんや子どもたちが、元気になるためのイベントの開催等へ活用させていた
だきました。親子の心理回復プログラムの実施、ピザやクッキー作り、手芸、アロマやパステル画
体験、クリスマス会など、心豊かな時間をたくさん過ごせました。心からお礼申し上げます。引き
続き、ニュースレターに振込用紙を同封いたしております。今年度からは、共感寄付には参加し
ておりませんので、税控除の対象にはなりません。今後ともご支援のほど、お願いいたします。

第16回定期総会を開催

6月3日 NPO法人DV防止ながさきの第16回定期総会を開催しました。会員64名中出席者61名（うち委任状37人）で、2017年度の活動報告、決算、2018年度の活動計画、予算のすべての議案が承認されました。



今年度、長崎県に授業の申し込みがあった高校の数は42校。中学からもすでに19校の申し込みがあり、最終的にはデートDV防止授業は、90校を優に超えると思われます。年間の受講生徒数は1万5千人前後になっています。主に離島、郡部の学校を対象にした長崎県からの委託事業もこの厳しい予算状況の中で継続となり、本当にありがたいことです。長崎県が、DVについて理解を示し、全国でも先駆的に予防教育の事業に取り組んでいるからこそ、学校も安心して応募できるようになっていますし、毎年、必ず実施する学校も増えています。

長崎県からの別の委託事業の一つである「DV被害者等の自立支援事業」も、全国的に注目されている先駆的な事業で、DV被害を受けた方の生活再建のお手伝い、役所や病院への同行、調停や裁判の同行など、多くの関係機関と連携・協力しながら、ひとりひとりのニーズに寄り添った地道な支援を続けています。

一方で、支援や予防教育の人材育成も急務です。ごたぶんに漏れず当会も、発足して16年、高齢化が否めませんが、若く意欲的な会員もちらほら増えてきて、未来への希望を感じています。それでも、会員だけの頑張りでは継続することは難しく、いつも皆さまの応援や、優しい気配りに助けられてここまで歩んできています。これからもご支援よろしくお祈いします。

総会後は、同会場でお茶やおいしいお菓子をいただきながら懇親会。短い時間でしたが、普段なかなか会えない五島や佐世保からも参加があり、また若い会員が赤ちゃんや幼児を連れて参加してくれ、嬉しいひと時を過ごしました。

記念講演 講師 藤本彩子さん(長崎県立開成学園)

テーマ「若い世代への性教育」

～快晴(かいせい)マザーズ～明るくまじめに性を語る会～

今回は、様々な事情から、長崎県立開成学園（児童自立支援施設）で寮生活をしながら学ぶ子供たちに、日々寄り添う中で、自分を大切にするための生き方を、性についての学びを通じて真摯に伝えている様子を具体的にお話いただきました。性教育は生の教育そのものだと、あらためて実感することができました。明日からの支援に生かしていきたいと多くの会員からも好評でした。開成学園の他の先生方も参加してくださり新たな出会いの場ともなりました。



今年もご参加、お待ちしております！

DV予防教育指導者養成スキルアップ研修2018

毎年恒例のDV予防教育の指導者養成・スキルアップ研修を、今年も、昨年同様、県の委託事業として実施します。大勢の方のご参加をお待ちします。

- ・長崎地区 8月2日(木) 9:30~16:00
会場：県営バスセンター3Fいきき広場5号室
- ・佐世保地区 8月7日(火) 9:30~16:00
会場：アルカスさせば内スピカ研修室1



毎年更新している最新版のパワーポイントの紹介や変更点の説明など、実技を交えて、具体的で実践的な研修を実施します。ここでの実技練習で、自信をもって授業ができるようになる内容になっています。生徒達に話す時は、一方的な講義ではなく、参加型で、生徒達に考えてもらったり、演じてもらったりしながら、実感し納得してもらうことが大事です。そのためにも、常に、私たち自身のジェンダー意識、暴力容認意識を点検し、自らを変えていくことが、とても大切だと毎年、実感しています。現場の先生方、若い方々の参加をお待ちしています。

参加希望の方は、ご氏名、ご住所、連絡先などを明記して、事務所まで、メール

(dv_greentomato@yahoo.co.jp) ファックス (095-832-8488) でご連絡ください。

詳細はHPでもご覧いただけます。

デートDV防止のための予防教育 2017年度の実績

2017年度も、県の委託事業、各自治体からの派遣講座、各地の国際ソロプチミストなどの民間団体の支援を受けて、ほとんど学校の費用負担なく、中学44校 5,573人、高校44校 8,888人(含む高専)、大学・専門学校 6校、710人、合計 15,171人に予防教育を実施することができました。

今年度も、すでに高校、中学校からたくさんの申し込みがきています。自治体からの実施依頼も年々増え、長崎市、佐世保市、大村市、諫早市、壱岐市、長与町では自治体の担当課で予算化して実施しています。

お子さんが通学している学校でデートDV防止授業実施したい場合や、先生や保護者を対象とした講演会、研修会を希望される場合は、DV防止ながさきや自治体へお問い合わせください。長崎県の子ども家庭課も成人対象の啓発講座への講師派遣事業を行っています。



誰かに相談してみようかなと思えることが、暴力防止の第一歩です。

中高校生が、フツの恋愛だと思っている中には、DV行為がたくさんあります。監視、束縛、暴言をはく、叩く、脅すなど。スマホをチェックされたり、GPSの位置情報で常に監視というのがあります。こんな行為の背景には、相手を支配したい、思い通りにしたい、恋をしたら相手は自分の物、という考え方があります。普段は、はきはき物を言える女子もカレシの言いなりになったり、カノジョに束縛されても断れないで悩んでいる男子もいます。「一見恋愛、実はDV」ということに出会ったら、「これって変だよな」「私はこのようのはいやだ」と感じる事ができ、相談につながる事が一番です。

《ながさきDV加害者更生プログラム研究会からのお知らせ》

ながさきDV加害者更生プログラム研究会は、DV被害者支援の立場から、加害者が暴力を選ばない生活を身につけるためのプログラムを実施するために、3年前からファシリテーター養成研修会や講演会を開催しながら準備をすすめ、昨年5月に、独立した団体としてスタートしました。

プログラム参加者を募集中です

プログラムは週に1回（2時間）で全18回を1クールとします。プログラム開始に向けて、現在、参加者を募集中です。「DVをやめたい」と希望している男性はもちろん、自分のDVが原因でパートナーとの関係に悩んでいる男性も、相談を受け付けております。ホームページも開設しましたので、どうぞご覧ください。

連絡先：070-2833-7399 アドレス：info@nondv.com

ながさきDV加害者更生プログラム研究会 <http://nondv.com/consult/>



—共感寄付パンフレットを同封しました—

DV加害者更生プログラム研究会は、設立からちょうど1年を経て、ようやく加害者プログラムの実施にたどりつきました。

今後、継続した活動を続けていくためには、財政的な基盤をしっかりとっていくことが必要です。このたび、DV防止ながさきのご協力により、ニュースレター「グリーントマト」に、「共感寄付」のパンフレットを同封させていただきました。被害者支援の一環として、加害者更生プログラムの運営に資金面でのご協力をいただければ幸いです。共感寄付での寄付は、確定申告の際に、寄付控除が受けられます。どうぞご支援よろしくお願いたします。

デートDV防止スプリング・フォーラム2018開催

2018.3.19 日本財団ホール（虎の門）

「デートDVは社会の問題」との視点から開催された今回のフォーラムは、「別れるのに相手の承諾はいらない」をテーマに話された打越さく良弁護士の基調講演をはじめ、内閣府と警察からのわかりやすい行政説明がありました。当会からは3名の参加がありましたので、午後からの3分科会は別れて参加しました。第1分科会は予防啓発。昨年当会も協力した授業後のアンケート集計が立派な報告書になっていました。残念ながら付き合い経験のある女子のうち3人に一人が被害を受けているという実態が分かり、緊急性が求められます。第2分科会の被害者を交えた、異業種・他分野の支援の連携も今よりもっと幅を広げていく必要があると痛感しました。今年も大学生を含めた若い方の参加があり、活動報告もありました。若い方が関心をもって自分たちの現状をどう打開していくか真剣に考え、行動されている姿に未来への希望を見ることが出来ました。シンガーソングライターの「ゆうな」さんがデートDV防止の情報発信のために素敵な曲を作られ演奏されましたが、いろんな分野の方がかかわってくださることが、今後社会に訴えていく、広げていくうえで必要なことだなと実感し、たくさんの糧を持ち帰りました。小物も販売し、好評でしたよ！



研修会に参加して

☆家族造形法で見てきた新しい視点！

5月19、20日の両日、ぐるうぷ・ゆるり主催の研修会が熊本県阿蘇郡産山村に於いて開催され、当会からも5名が参加。講師は立命館大学名誉教授の村本邦子先生で、今回は熊本の相談員、支援者と合わせて13名での研修となった。

1日目は、各自がこの1年を振り返って自由に話すことから始まった。熊本地震を経験した当地の婦人相談員さんが“災害時の相談対応 婦人相談員ハンドブック”という冊子を村本先生をアドバイザーとして作成しており、支援で配慮すべきことなどの充実した内容に大変驚かされた。

2日目は、“家族造形法”という手法を用いて困難なケースについて皆で考える研修。担当者が、ケースの登場人物を研修参加者から選び、位置や形（立つ、座る、向き、手足の動きなど）を詳細に決め、家族全体を動かない像の集まりとして作りあげ、それを周りの人が色んな角度から観察して、多角的に捉えながら考えていくというもの。特に今回は、それぞれの像の役割をした人たちに、自ら7年後（現在）の位置へと自由に動いてもらった。その出来上がった家族像がとても興味深かった。この家族造形法（ここ数年恒例になっている）は、周りの観察者から様々な意見を聞くことが出来て、また像となった当事者の気持ちも聞けて紙面では分からないことが見えてくるから不思議。そして最後には何かしら希望の道筋も開けてくるから更に感動。ぜひ機会があったら、どなたにも経験してほしいと思う。

今回の研修は場所が産山村ということもあり、新緑美しい阿蘇の木々に囲まれた中、おとぎの国を思わせる様な素敵なログハウスに泊めていただき、温泉、地元あか牛の焼肉も堪能し、心身ともにリフレッシュできた2日間だった。 N.I



☆予期しない妊娠、どうする？ どこに相談する？

5月26日、佐賀県嬉野市の嬉野文化センターにおいて、「にんしんSOS東京」の中島かおりさんの講演がありました。妊娠にまつわる全ての「困った」「どうしよう」に寄り添い多数の女性の支援をされています。思いがけない妊娠に悩む女性に、産む、産まない、育てる、育てないに関わらず全て



の妊娠に寄り添われています。相談者さんを孤立させず、その人の持っている力を信じ、出来ることは自分で、出来ないことには支援をするという常に相談者さんの目線で焦らずゆったりとした肉親のような暖かさを感じました。新生児の虐待死が児童虐待死の全体の58%と聞き、思いがけない妊娠に戸惑う孤立したお母さんの姿が浮かびました。

妊娠は一人では出来ないことなのですが、結果を引き受けるのは女性で、誰にも言えず思い悩み、孤立してしまうのも、常に女性であることを今さらながら思い知らされました。このような女性を孤立させない社会の仕組みが当たり前になる世の中が一日も早く実現するように願います。

また、十代に正しい性知識を教えることが大事だとも話されました。対等な関係で自分や相手を大事にするということはどういう事なのかを含めて、姓についてのきちんとした知識を教える必要があると思いました。 Y.K

にんしんSOSネットワークのホームページは <http://zenninnet-sos.org>

全国の相談機関がわかります。知っておくととても役立ちます。



今後のイベントのご案内 HPでもご案内する予定です

☆子どもの権利条約ながさきネット

6月2日から「オンブズルーム」を浦上百貨センターのレンタルスペースにて開設。子どもの相談を受けています。関心のある方は、のぞいてみてください。

☆スウェーデンのパパたちと、長崎のパパと子ども写真展

7月6日～8日 市民会館地下1階「展示ホール」

6か月以上育児休暇を取得して子育てに専念することを選んだパパたちが見せる姿は、少しコミカルでいてあたたかい。



☆デートDV防止全国ネットワーク設立集会

8月26日（日）代々木オリンピックセンター 13:00～16:30

テーマは「10代の妊娠とデートDV」「子どもの未来を守るデートDV防止教育を」など。文部科学省が初めて実施した高校生の妊娠の実態調査の報告や、予期しない妊娠の相談に幅広く応じてきている「にんしんSOS東京」代表の松下清美さん、富山の産婦人科医の種部恭子さんなど、多彩な方々にお話ししていただく予定です。その頃、たまたま東京近辺にいるかたは、ぜひご参加ください。

☆アマランスフェスタ

・講演会 9月29日（土）午後 場所：メルかつきまち

・バザー、市民企画講座 9月30日（日）終日

＊市民企画講座として、加害者プログラム研究会が参加します。

☆11月3日午後～11月4日終日 第21回全国女性シェルターシンポジウムin 札幌

会場：北海道道民センターかでの27

基調講演 **イスタンブール条約の基本である「防止、保護、訴追」について**

講師：オーストリア DV被害者支援センター・ウィーン代表 ローザ・ローガーさん
他10分科会を予定。 参加費：両日6,000円

今年の「DV根絶のための連続講座」

11月末の日曜を予定しています。日程が決まり次第HPでお知らせします。毎年、講師やテーマを変えていますので、新しい情報を得るためにも、ぜひご参加ください。



DV防止ながさきの電話相談 ～ 必要な方へ情報が届いてほしい！

暴力を我慢する必要はありません。週4回、夜も電話を受け付けています。何度かけても構いません。秘密は守ります。名前を言う必要はありません。とにかく話してみませんか？ 夫や恋人との関係、今のこと、昔のこと、心にひっかかっていることを話してみてください。必要があれば専門機関へつなぐこともできます。

（面接は要予約です。安全な場所でお話をうかがいます。）

月・水・土 13:00～17:00 月・水 19:00～21:00 095-832-8484
火 16:00～20:00 080-2794-8022